

現Biz学生は、今夏、アメリカでの語学・異文化体験留学、地元企業でのインターンシップ、地域の方々と協働した地域活性化への取り組みなど、キャンパスの中での授業では体験できない活動に挑戦しました。今回はその内容を紹介します。

## 短期海外留学(語学・異文化体験演習)

現Bizのグローバルビジネス専攻の学生は、4週間の短期留学(語学・異文化体験演習)が必修科目となっています。この夏、5名の学生が協定大学であるアメリカのカリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校(CSUB)に短期留学しました。8月12日に現地に到着し、翌13日にはオリエンテーション、キャンパスツアー、14日からは午前・午後とも英語の授業を受講しました。CSUBでは8月22日に夏学期が終わります。そのため、秋学期開始までの5日間には、農場見学やハリウッド散策など様々な交流プログラムもあり、語学のみならず、実際に海外に行ってみなければわからない生活環境や文化の違いを体験し、貴重な学びの機会となりました。参加した学生からは、「出発前は、英語だけの授業についていけるか心配だったが、少しずつ慣れてきた。帰国後は以前より英語だけの授業も理解できるようになった」「食文化の違いが心配だったが、日本食がほとんどなくても快適に過ごせた。その一方で日本食の良さも改めて感じた」「キャンパスの中にリスがたくさんいるのに驚いた」「アメリカの人たちは、オープンでフレンドリー。トークが絶えなかった」「外国の人たちと交流することがこんなに楽しいとは思わなかった」「もう一度留学の機会があるのなら、ぜひ参加したい。もっと英語でコミュニケーションできるようになりたい」など、海外留学ならではの手ごたえを感じる感想が寄せられました。この経験を活かして、今学期以降の学びにつなげてもらいたいと思います。



関空出発! CSUBへ



HOLLYWOODで  
記念撮影!



充実したプログラムで  
しっかり学習

High University 9	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
8:00-12:00	8:00-12:00	8:00-12:00	8:00-12:00	8:00-12:00	8:00-12:00	8:00-12:00	8:00-12:00
13:00-18:00	13:00-18:00	13:00-18:00	13:00-18:00	13:00-18:00	13:00-18:00	13:00-18:00	13:00-18:00
19:00-21:00	19:00-21:00	19:00-21:00	19:00-21:00	19:00-21:00	19:00-21:00	19:00-21:00	19:00-21:00
22:00-24:00	22:00-24:00	22:00-24:00	22:00-24:00	22:00-24:00	22:00-24:00	22:00-24:00	22:00-24:00



## 短期インターンシップ

現ビズ3年生が、夏休み期間（8～9月上旬）に13企業において、約1週間のインターンシップに参加しました。インターンシップ先は、地元金融機関（姫路信用金庫、兵庫信用金庫、但陽信用金庫）、商社（六甲商会）、加古川市役所、加古川総合保健センター、自動車ディーラー（スズキ販売西兵庫、近畿日産）、マスコミ（BAN-BAN ネットワークス）、ホテル（シーサイドホテル舞子ピラ神戸）など、学生の関心に合わせて多彩です。



ニュースレター第18号でお伝えしたように、4月から企業研究やビジネスマナーなどの講義を受け、万全の態勢で臨みました。参加学生からは、「業界の現状や最新技術について話を聞き、現場での仕事を実際に体験することで、自分の成長につながったと思う」（自動車）、「営業同行させていただき、商談や雑談を聞いて、営業には信頼関係や人間関係がとても大切だということを知り、ためになった」（商社）、「実習のプログラムでパソコン業務をさせていただき、大学在学中にもっとパソコンのスキルを磨いていきたいと思った」（事務）、「インターンシップに参加して、今まではっきりしていなかった自分のやりたいことが明確になり、よかった」（マスコミ）など、非常に前向きな感想を数多く聞くことができました。学生たちを温かく受け入れ、熱心にご指導くださった企業の皆様に心より感謝いたします。秋からはいよいよ就職活動がスタートしますが、この貴重な経験を活かして将来に向けての確かな一歩を歩みはじめられるよう、しっかりサポートしたいと思います。

## プロジェクト実践「加古川てらこや」

2018年8月26日（日）、加古川市の鶴林寺で「Let's 修行体験 in 鶴林寺～みんなとの絆を深めよう！」というテーマで、「加古川てらこや」事業を行いました。

「加古川てらこや」は、地域住民と現ビズ学生が設立した団体で、地域の大人が協力して子どもたちに夢と誇りをもって成長する機会を創り出しながら、将来を背負う若者を育てるとともに、地域の発展に寄与することを目的としています。

今回はその第1回目の事業で、加古川市内の小学生1～6年生の55名が、鶴林寺本堂での座禅、本堂での精進料理（お粥など）、真光院での茶道、境内でのスタンプラリーなどに参加し、子どもたちが地域を学ぶ貴重な機会となりました。

学生にとっては、企画、財務、広報、マネジメントなど重要な役割を担い、ビジネスや社会人の基礎力を身につける実践的学びの場となりました。当日はてらこや関係者や学生ボランティアの力を借りて、参加した子どもたちが満足できる事業を実施できました。もちろん反省点もありましたが、今後の事業に活かして、てらこや事業も学生自身も成長していくことを期待しています。

